

会員間での共配推進

副会長に新瀬氏選出

OAP

大阪アパレル物流協議会(OAP、岩男史朗会長)は4月18日の総会で役員改選を行い、副会長として新たに新瀬幸司氏(ワコール流通)を選出した。事業計画では、会員間での共同配送と物流ノウハウの共有を推進し、作業効率化、物流コスト低減を実現していく。

(根来冬太)

岩男会長(56、福助ロジスティクス)と、坂井祐二(インテクスト)、真砂輝夫(タビオ奈良)、小川茂

浩(グンゼ物流)の各副会長は再選された。

アパレル物流業界の現状について、岩男氏は「『2024年問題』の解決には至っていない」「米トランプ大統領の関税についての発言に混乱を強いられてい

「24年問題の解決には至っていない」と岩男会長

る」と指摘。OAPについては、「同一の配送先に各社個別で運送便を仕立てて納品しているルートも多い。また、マニュアルや人海戦術による物流作業に依存しており柔軟でない」と説明した。

25年度は「アパレル流通のサプライチェーン(供給網)を、『物流』から整流

化していく」をテーマに、24年度に各研究会で検証してきた課題を、解決するフェーズへ移行していく。

具体的には、賛助・後援会員が正会員の倉庫を視察し、役立つマテハンやシステムを提案する。また、運送会社のルートや料金、得意先の納品方法などの情報を共有して最適な物流戦略を模索。共同配送やEC(電子商取引)倉庫の共同化につなげる。

その後の講演会では、元ラグビー選手で日本代表の

